

哲學研究

第四十六卷 第八册

第五百三十八號

昭和五十四年十一月二十日發行

トマス・アキィナスにおける

《Causa rerum》について (承前)

—— Sum. theol. I, q. 14, a. 8. ——

… 山 田 晶

デカルトの合理主義について (完)

—— 理性の意義と役割 —— …… 山 田 弘 明

G・W・F・ヘーゲル体系以前における

思想形成の内面的展開 …… 安 彦 一 恵

京 都 大 學 文 學 部 内
京 都 哲 學 會

京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
 - (一) 會誌「哲學研究」を發行する
 - (二) 毎年公開講演會を開く
 - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委囑する
- 一、本會は賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年二、〇〇〇圓（會誌三冊分を含む）を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

京都哲學會役員

委員

梶山 能一
木會 好雄
酒井 亮修
佐々木 善三
清水 一郎
杉山 聖一
辻村 久公
中西 裕
長谷 正裕
服部 正明
平野 俊二
藤澤 令夫
水垣 治
本吉 良
森口 美都
山田 晶男
湯淺 幸
吉岡 健二
吉岡 健二

次 号 論 文 予 告

現実活動態(上)……………藤澤 令夫	——アリストテレスにおけるキーネーシス
(あるいは運動の論理)とエネルギーア	(あるいは活動の論理)——
探究とロゴス(完)……………水垣 渉	
マックス・ヴェーバーにおける	理解の方法(完)……………西谷 敬
空間と幾何学(完)……………田村 祐三	

前 号 目 次

支配変動論……………池田 義祐	
ホワイトヘッドと西田哲学	——神と世界との関係をめぐる——
……………山本 誠作	
認識と超越……………杉山聖一郎	——カント哲学の場合——
芸術の過去性をめぐる一考察……………米澤 有恒	——ハイデッガーの哲学を中心として——

- (17) Vgl., *Phä.*, S. 74.
 (18) この時期は「論理学及び形而上学」として講義題目が在るが、内容的には論理学＝形而上学である。Vgl., H. Kimmerte, a. a. O., S. 98.
 (19) *Doh.*, S. 344.
 (20) *Doh.*, S. 343.
 (21) *Doh.*, S. 344.
 (22) *J. R. II.*, S. 250.
 (23) *J. R. II.*, S. 251.
 (24) *J. R. II.*, S. 251.
 (25) 以上は *J. R. II.*, S. 253 の第一段落の要約である。
 (26) 以上は *J. R. II.*, S. 254-262 の要約である。
 (27) *J. R. II.*, S. 250.
 (28) *J. R. II.*, S. 250.
 (29) *J. R. II.*, S. 251.
 (30) *J. R. II.*, S. 270.
 (31) *J. R. II.*, S. 267.
 (32) *J. R. II.*, S. 252.
 (33) *J. R. II.*, S. 262.
 (34) *J. R. II.*, S. 272.
 (35) *J. R. II.*, S. 253.
 (36) *J. R. II.*, S. 263.
 (37) *J. R. II.*, S. 265.
 (38) *J. R. II.*, S. 272.
 (39) G. Rohmser, *Subjektivität und Verdinglichung*, 1961, S. 108f.
 (40) *J. R. II.*, S. 205.
 (41) G. Rohmser, a. a. O., S. 104.

〔正用略号②〕

Doh......*Dokumente zu Hegels Entwicklung*, hrsg. v. J.

Hoffmeister.

S. d. S.....*System der Sittlichkeit*, hrsg. v. G. Lasson (Ph. B.)
Phä......*Phänomenologie des Geistes*, hrsg. v. J. Hoffmeister (Ph., B.).
J. R. II......*Jenaeer Realphilosophie*, hrsg. v. J. Hoffmeister (Ph. B.), *Bd. II.*,
 他は五三二号参照。
 (筆)

(筆者 種智院大学〔倫理学〕非常勤講師)

会 告

京都哲学会前委員、京都大学元教授、蓮実重康先生はかねてから病氣御療養中のところ、本年一月十一日午後十二時四十分、腎臓腫瘍のため東京大学付属病院において逝去されました。享年七十三歳。

先生は昭和三十二年に新設された美学美術史学第二講座の初代教官として赴任されてより昭和四十二年まで一年にわたって同講座を担当され、独自の学風の形成と研究者の養成に尽力されました。

この間、京都哲学会委員として学会の維持発展の為に意を用いられましたが、昭和三十三年には「室町時代初期に於ける画僧如拙の存在意義」(四五四号)、「昭和四十一年には「縄文文化の時代の土偶彫刻における抽象と具象の芸術的意味」(五〇〇号)と題する二篇の論文を本誌上に発表されています。ここに謹んで先生に哀惜の念を捧げるとともに、御冥福を心よりお祈り申し上げます。

昭和五十四年五月二十五日

京都哲学会

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會（振替口座京都四〇三九番 京都哲學會）宛に規定の會費（年二、〇〇〇圓）をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地創文社（振替口座東京二一九二四七二番）宛に願います
一、會員の轉居・入退會の事務及び編輯事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田
京都大學文學部内

昭和五十四年十一月十五日 印刷
昭和五十四年十一月二十日 發行

編輯兼 京都大學文學部内
發行人 京 都 哲 學 會
編輯代表 杉 山 聖 一 郎

賣捌所 株式會社 創 文 社

久 保 井 理 津 男

東京都千代田區一番町一七番地
振替口座 東京二一九二四七二
電話東京二六三〇一七二（代表）

印刷所 曉印刷株式會社

東京都文京區関口一―二四―八

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい

一、本誌の御註文はすべて代金送料共（一部、定價七〇〇圓、送料・四〇圓）前金にてお送り下さい

昭和五十四年十一月二十五日印刷

THE JOURNAL
OF
PHILOSOPHICAL STUDIES
THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLVI

November 1979

No. 8

On «causa rerum» in St. Thomas Aquinas

— *Sum. theol. I, q. 14, a. 8.* —Akira Yamada

Sur le rationalisme de Descartes (fin) — Étude sur les

significations et les rôles de la raison —Hiroaki Yamada

*Die innerliche Entwicklung der Gedanken Hegels in seiner
vorphänomenologischen Zeit — «Idee» und «Wirklichkeit»*

bei Hegel — Kazuyoshi Abiko

Published by
THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY
(The Kyoto Tetsugaku-Kai)
Kyoto University

Kyoto Japan